

文化の秋は感動がいっぱいです

広徳中学校の生徒の皆さん、保護者の皆様、校長の児島です。11月になりましたが、暖かい日が続いています。今週末から気温がぐっと下がる（といっても平年並みですが）そうです。期末考査や部活動の新人戦を前に、体調不良にならないように気をつけて生活してくださいね。

さて、文化総合発表会はどうだったでしょうか。コロナ禍を経て、実に4年ぶりの全校で行った発表会、広徳中の文化の灯は途絶えることなく、むしろ輝きを増しているとも実感できた1日だったと思います。今日この日の発表を目標に、それぞれの学年、クラス、部活動で重ねてきたみなさんの努力に、心から敬意を表したいと思います。合唱や合奏、演劇などの舞台芸術は、皆さんの前で発表して初めて「作品」として成立する、その時1回限りの表現活動です。展示作品も直に鑑賞されてこそ、その美しさ、創造の豊かさを感じさせるものだと思います。今回こうして、みなさんの想いがこもった作品を発表できる機会を持ったことを、携わっていただいた方々に感謝いたします。



【3年生モザイクアート制作中！】

○ 合唱の素晴らしさが伝わってきました

2学期になるとすぐに、音楽室から学年合唱に取り組む様子が聴こえてきました。コロナ禍の間、音楽の授業でも「みんなで声を出して歌う」といった活動がとてまなくなり、特に1年生の皆さんは、小学校から合唱にじっくり取り組んだ経験がない生徒がいる状況での、学年合唱のスタートだったと思います。やがて有吉先生の熱心なご指導と、各パートリーダーの頑張りや実を結び、歌声がまとまり始めたのが、体育大会が終わった頃でした。それ以降は各学年とも競うように練習に励み、結果として素晴らしい発表につながったと感じています。本番はそれぞれ学年の良さが輝く、本当に素敵な「作品」になっていたと思います。どの学年を聴いても甲乙つけがたく「コンクールでなくて良かった」と思うほどでした。来年も、そして卒業式にも大いに期待したいと思います。

○ 文化部の皆さんも頑張りました

音楽部と演劇部の皆さんは、実は10月29日にウエルとばたで開催された「第38回北九州市中学校総合文化祭」に、それぞれの部門の代表として出演し、3日後にまた文化総合発表会の本番を迎えたのですが、どちらも堂々とした発表で、素晴らしかったと思います。夏休みからコツコツと制作していた作品を展示した美術部もとても良かったですね。実は、音楽部は発表会の次の日にも、小倉南区連合音楽会に広徳中を代表して出演しています。1週間のうちに、三回も本番があるなんて、なかなかないことだと思います。また、連合音楽会では連携部活動の吹奏楽で活躍している1年生も、孤軍奮闘で頑張っていて、素晴らしいと思いました。



【音楽部の堂々とした演奏の様子】